



## 【 地域移行支援研修会・協議会に参加して 】

9月、竜ヶ崎保健所が毎年開催する精神障害者地域移行支援研修会・協議会に初めて招かれ、管内9市町村の福祉関係部門、主要病院、社会福祉関係者とともに、精神保健福祉法の改正(県障害福祉課)、こころの医療センターの取り組み～多職種による退院支援について～(こころの医療センター)、法から学ぶ～親亡き後・親あるうちにできること(法テラス)並びに取手市における地域移行支援(市障害福祉課)の講演を興味を持って聞きました。

取手市は、数年前に市内精神科病院のソーシャルワーカーが退職したのを機に市役所に直接退院希望の電話が増えてきたとのこと。そして退院支援をし、他にも退院できる患者がいるのでは？との問題意識を持ち、保健所にも相談し、状況把握のうえ、7人の支援対象者のうち5人を退院とチームによる個別支援に繋ぐと言う積極的な試みに感心しました。

法テラスの話は新鮮で、親亡き後が問題になる背景に、日本の障害者に対する対応の方法が、家庭による努力を前提に構築されてきたことが背景にあることや、家族から地域社会への支援の移動において属人的支援から管轄別支援になり、作業がうまく進まないのではないかと指摘があり、お金・財産の支援や譲り渡しなどに関するお話では、必ずしも使い勝手が良くない成年後見制度よりも、社協が契約により行う金銭管理サービスが実用的ではないかと指摘もありました。

続いて開かれた協議会では、各市町村が協議の場をどれだけ開催したかが紹介されましたが、龍ヶ崎市は、昨年度は無く、今年度は行うとの発言で、知見を広げ是非前向きに取り組んで頂きたいと思いました。(竹之内 啓吾)

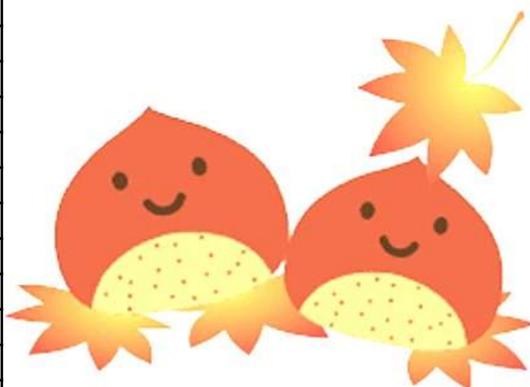
## 【 精神病は病気でない！？ 】

八王子市でお寺の住職をされている方がいる。平成4年に「精神病は病でない」という著書を発行し、平成24年まで増刷を繰り返していた。①医師は病気を治す人である。②だから、「医師は精神病を治すことは出来ない。」と云える。ある娘さんから受けた叫び！「住職の先生、お願いですから私が入っている病院に来てください。お医者さんに話してください。薬をのめのめとそればかりで少しも治せないのです。」

そう！“精神病は病気ではない。ゆえに医師は精神病を治すことができない。”ということになる。医師(医療)と精神病の関係を障害年金の診断書から垣間見てみる。(1)肢体の障害用の診断書は、いろいろな計測データや身体の障害の状態、障害部位の症状やその程度を医師が述べるようになっている。(2)精神の障害用の診断書をみると、医師が行った治療行為を記載するには、ほど遠い様式になっている。(次頁に続く)

### これまでの主な活動(7-9月)

月日	項目	場所
7月3日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
7月6日	定例会	市民活動センター
7月8日	県南かれん	総合福祉センター
7月20日	婦人茶話会	総合福祉センター
7月27日	役員会	市民活動センター
8月3日	定例会	稲敷市新利根公民館
8月4日	ふれ愛縁日	総合福祉センター
8月7日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
8月17日	懇親会	四季亭
8月24日	役員会	市民活動センター
9月4日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
9月5日	地域移行支援連絡会	竜ヶ崎保健所
9月7日	定例会	市民活動センター
9月9日	県南かれん	総合福祉センター
9月19日	県連理事連絡会	ウェブ会議
9月21日	婦人茶話会	市民活動センター
9月28日	役員会	市民活動センター



(続き)すなわち、病気を治すという医師の行為を具体的に記載するものとはなっていない。医師が本人や関係する人たちとお話した感想文のようだと思う。(T・Y)

## 【 虫は苦手 】

子供の頃から虫が苦手で、実家にいた頃は「G(ごきぶり)」が出ると妹に頼んでいた。台所にいたのにいない。「パトロール料をいただきます」、妹に100円を渡す。しばらくして「殺したよ。500円です。」、500円支払う。台所に行くと死骸が!「死体処理料500円です」、仕方なく払う。

今は夫が無料で虫を退治してくれるが、数年前の冬、仕事用の水筒のお茶を作ろうと、麦茶のパックを入れたポットにお湯を入れたところ、ティーポットがガタンガタンと左右に動いた。びっくりして中をもう一度見ると、麦茶が入った網の下にヤモリがいた。いつの間に家に入ったのだろう。

職場で同僚に話したら、エアコンを付けたら羽根の間から「G」が飛び出て来て大騒ぎになったそう。そんな彼女が教えてくれたのが、室外機のホースに取り付ける虫の侵入を防ぐ網キャップ。虫は外の室外機のホースから入ってくることもあるようです。2個入り100円で買え、お勧めです。(Y・S)

## 【 公園の前 】

わが家は小さな公園の前にある。小学校からすぐ、スーパー、病院などに徒歩で行ける、夫が頑張って建ててくれた、クレヨンしんちゃんと同じ35年ローンの家だ。

公園にはいろいろな人がやってくるが、息子達が小学生の時、遊ぶ児童達におかまいなしに抱き合う中学生が現れ、小学生から「愛のストーリー」と名付けられていた。二人は、ボールが当たっても数時間人形のように動かない。ある日、残業で遅くなった夫を迎えに車に乗ると、同じポーズのまま、まだいる!!

いつしか二人もいなくなってしまうけれど、公園には毎日誰かやってくる。

先日すっかり大きくなった息子がボールを蹴っていたので私もブランコに乗ったら、「乗るの?」と聞くので、「仕事で乗ってたから抵抗ない」と言ったら隣で息子も乗り始めた。懐かしくて穏やかな時間だった。公園の前に住んでいて良かったと思った。(Y・S)

## 【編集後記】

茨城県は耕地面積比率が26.4%で全国1を誇ります。

青果で見ると、れんこん、はくさい、小松菜、レタス、ねぎ、加工用トマト、ピーマン、メロン、栗等々日本一の収穫量をあげています(茨城県民手帳より)。

ビールの生産量も日本一、夏バテから回復し味覚を堪能する季節に入り、また色に例えると白、白秋にわが身を思う向きもあろうかと思われます。

家族会関連行事が龍ヶ崎、水戸、札幌など各地で開かれ、11月には関東ブロック神奈川大会が川崎市で開かれます。

参加される方は、実り多き時が生まれるよう、お祈りします。

会員の皆様からの投稿、お待ちしております。

(K・T)

## これからの予定(10月-)

月日	項目	場所
10月2日	コミュニケーション障害研究会	市民活動センター
10月5日	定例会	河内町農芸環境改善センター
10月9日	ボランティア連絡協議会	地域福祉会館
10月11-12日	みんなねっと札幌大会	北海道大学学術交流会館ほか
10月17日	茨城県障害者福祉の集い	大昭ホール龍ヶ崎
10月18日	龍ヶ崎地域活動支援センター運営協議会	市役所
10月19日	婦人茶話会	総合福祉センター
10月20日	ふれ愛広場	大昭ホール龍ヶ崎
10月22日	フォーラムin水戸	ザ・ヒロサワシティ会館
10月26日	役員会	市民活動センター
11月2日	定例会	利根町布川地区コミュニティーセンター

